

巻 頭 言

保健医療学研究科では、保健医療学分野の医療で高度な専門職業人を養成し、保健医療学の分野についての豊かな学識を養い、専門的で、先端的かつ独創的な高度な研究活動を自立して行える能力を高め、保健医療学の発展を促進し、国内外への研究成果を発信できる教育・研究者を育成します。さらには、社会に貢献する医療人を輩出し蓄積してきた昭和大学の医学・医療の実践と研究の知を礎にして、社会の変遷に伴う、ひとびとの保健医療への多様な要請に応え、その健康・QOLの維持・向上に寄与することを使命としています。

本保健医療学研究科における保健医療学とは、現代社会で生じる健康問題とその多面的要因を研究し、実行可能な対策を考える医療の一分野で、あらゆる健康レベルに関連する生活機能とその障害を取り扱う学問であり、健康保持・増進、疾病や障害の予防、生活機能の回復にかかわる教育・研究を行う分野であると定義しています。また健康の概念が「健康とは病気ではないこと」のみならず、「病気であっても積極的な健康への取り組み」も含むように変化してきている。そこで「健康」について科学的に教育・研究し、それにより健康維持増進に貢献することを目指しています。

保健医療学専攻博士前期（修士）課程では、大きく次の2つの教育が行われています。第1番目は、5つの専門教育研究領域〔①基礎・臨床・統合医療領域、②運動障害リハビリテーションと呼吸ケア領域、③精神障害リハビリテーションとケア領域、④地域・在宅ケア・マネジメントと医療施設ケア領域、⑤医療マネジメント領域〕の教育・研究者や実践の場でリーダーシップをとり、指導的役割を果たせ、高い専門性に基づく臨床研究ができる保健医療学領域の医療従事者の育成を目指すいわゆる“修士論文コース”の教育です。第2番目は、専門性を高めた看護実践・教育研究等の開発的役割がとれる専門看護師（専門看護師教育課程）の育成を目指す教育です。

また保健医療学専攻博士前期（修士）課程は、博士後期（博士）課程へ進学し、教育・研究者となるための第一段階の教育課程でもあります。

本シラバスには、教育課程において専門領域での専門性を高めるために行う特別研究や博士前期課程修了要件に必要な必修科目と5領域全ての選択専門科目の授業概要、目標、評価方法、授業計画・内容等が記載されております。特別研究のテーマや研究内容および選択専門科目を決定するための資料として利用し、在学中は、全教育課程が修了するまで学習過程を確認するために十分活用して専門領域での教育研究を遂行することを願っております。

尚、専門看護師教育課程のシラバスは別に定めます。

保健医療学研究科長
副島 和彦